

# 市長リコール署名数8200筆余 多くのみなさんのご支援に感謝します！



庁舎は本当に見直されたの？（※裏面をご覧ください）



リコール反対のチラシの影響があった。それでも8200筆も集まった！

十分に市民に情報が伝わっていない。庁舎議論は終わり？

誰かに見られてしまうので、署名はしたいけど、できない。

市長リコールより、議会リコールが先だ！



## 市民の いろいろな声



市民病院、市民体育館、市民プールはどうなるの？

穂積市長が良いとは思わないが、どうせ誰がやっても変わらない。

産廃が、何で南部企業団地に来たの？



何でバイパスへ出なかったのか？今の場所は狭くて不便！

なぜ、庁舎の説明資料を、一人一人に送ったの？

孫や子への負担が心配！



※裏面もご覧ください

## 市長リコールの会

共同代表 太田 恒久 (090-6365-3646)  
澤田 恵子 (090-8739-7408)  
竹本 博光 (090-8673-9455)

## 穂積市長リコール署名を終えて

まず初めに、今回の穂積市長解職請求に対して多くの市民の皆様が署名に協力していただいたことに心から感謝の意を表します。署名の結果は8286筆（2/9現在）でした。

昨年2月から始まった新庁舎建設住民投票にかかる署名収集、そして多くの市民の支持した住民投票結果の無視、合併10年間の市政の停滞、その政治手法を考えた時、今回の市長リコール運動は「このままでよいのか新城市政」と全市民に問いかけたものでした。この運動はやむにやまれぬ市民の最後の合法的な手段であり、新城始まって以来の画期的な出来事でした。

署名収集の1か月間は、1月7日に順調にスタートしたものの、市長後援会新城地区会長を代表とする「新友会」による署名阻止運動のチラシ・街宣活動・署名取り消し・電話など、威圧・強引な方法で市民の自由な意思表示を奪う結果となりました。このようなことは市民自治とは相反するものであり、自治法に基づく正当な署名活動を否定するものです。

それでも後半は、多くの市民が市政を考え「これでは

新城市の将来は無い」と憂い、若者たちも自主的に「新城救い隊」を結成して市長リコール活動に参加しました。有権者の8000筆を超える署名が集まったことは大きな成果であり、今後の市政にとって意義あるものであると考えます。

市長解職は実現しませんでした。今後「リコールの会」を発展的に解消し、行動する新たな組織に引き継いでいきます。

そして市民が安心して住み続けられるまちづくりのために、市民と情報を共有し、連携して行政及び市民の代表であるはずの議会を監視しながら市民活動を続けていきます。

最後になりましたが、この2年間庁舎建設見直し住民投票から始まり市長解職請求まで、市民間での議論が深まったことは市民自治を目指す新城市の新たな一歩が踏み出されたものと考えます。市長及び行政主導の市政でなく、市民が自ら考え行動する市民が創り上げていく新城市にしていきます。

### 見直し前5階建ガラス張り



### 見直し後4階建+東庁舎



豪華庁舎がシンプルになりましたが  
庁舎総面積は、9000㎡から8600㎡になっただけ？

市民の声で見直しが  
実現しましたが？

市民へは、6800㎡（東庁舎面積は無視）への大幅な見直しと大宣伝！

### みなさんに考えて欲しいこと

◇穂積市長任期2年を手放しで任せないで！ ➡

◇穂積市長・議会を変えるのは市民です！ ➡

◇新しい市民組織を立ち上げます！

今後予定の事業は、IC周辺企業団地開発、鳳来総合支所周辺開発、駅前開発等の合併特例債絡みの事業（庁舎を含めれば計百億円前後）が控えています。

「市長リコールより議会リコールが先だ」の声が多く聞こえました。議会を変えるのも、市長を変えるのも市民しかできません。市民の関心が必要です。

＜市長リコール署名報告会&新組織結成集会＞ 参加自由、無料です

◆日時 3月5日（土）開会：午後1時 開始：午後1時30分～

◆場所 新城文化会館301研修室

◆内容 ◆講演会 「市長リコールから始まる市民主役のまちづくり」  
講師 山中 光茂（前松阪市長）

◆市長リコール署名報告と新組織結成 ◆その他